

日下修次先生

てどんな印象でしたか？

その頃は、男の子ばかりだったよ。やんちゃだね、やんちゃな学校だった。今じゃ考えられないけど、某高校としてゆっぴゅう衝突もあつたりしたなあ。学校の近くにほかの学校の生徒が来た。りした時は生徒間の衝突があると困るから何人かの先生で行って、帰したりなんてこともあつたね。

—大変だったんですね(笑)
いや、生徒の質、みたいなものは良かったから楽だったかな。

—質、ですか。
そう、当時の他の学校の教員仲間から聞いたりして、うちの生徒は良かったと思う。とても生活しやすい環境だったんじゃないかな。僕が思うに鶴ヶ丘で教師が務まらなかつたら他では務まらないと思う。特に生徒の管理についてはね。ただ、その分、指導力が無いと苦労するかもしれないけれどね。

—きちんと指導が出来ているよ。
そうだね、勉強に関しては20年く

らい前から難関大学に受かるような生徒が始めていたしね。今は、全体のレベルが上がってきているからもっと多くなったけど。それに部活動は野球部だと空手道部とかが活躍しているのも良い。勉強はかりついても、部活動ばかりついても良い。学校つていうのは車の両輪だからさ。バランス良く保たれてるのは良いと思う。そういう意味でうちはとても良いんじゃないかな。

—それが、良い環境、良い雰囲気繋がっているというところですか。
そう、40年以上勤めて苦労したつてもそんなになかつたし、先生方も士も風通しが良かったというか、楽しい職場だったよ。

—では、昔と今のカラーと言いますか
雰囲気なんかで違う点はどこですか。
入ったころはバンカラみたいな感じ

だったよ。クラスに女の子は数人で感じだったしね。殆ど男子校だった。

—バンカラですか(笑)当時の先生のお話を少し耳にしたことがあるのですが、何でもヌンチャクとかもつて生活指導していたとか。

それはあまり覚えてないなあ。ただ、当時古武道の道具は持つてたりとかして練習したりはしたけどね。六尺棒つていうのがあつて、それ持つて見張りしていたことはあつたんですよ。今みたいに管理もされていなかったからどこからでも校舎の外に出れちゃったから。だから昼休みは忙しかったよ。

—六尺棒とはまたすごいですね。では、昔から変わらなかつたところありますか。
明るいやね、明るく元気つてつてくるは変わらなかつたよ(笑)

—逆に、いつ位から鶴ヶ丘の雰囲気は

変わってきたと感じましたか。

—そうだねえ。やっぱり平成になつてだいぶ変わったんじゃないかな。特に学ランからブレザーに変わった事もとても大きかつたかなあ。女の子も増えてたから取っ組み合いのケンカとかゴミが散らかるなんてことも無くなつたように思うね。その頃まではホントにむさ苦しかった。(笑)「

—クラスに女子数人ですもんね(笑)。
—女の子が増えたころからは、やはり日下先生のようなタイプですとかなり好かれたとは思つのですが、...
「...」

「**人生のターニングポイントでアドバイス出来る立場にいたかつた。」**

—では日下先生自身のお話をもっと詳しく聞かせて頂きたいのですが、やはり日下先生の鶴ヶ丘生活は空手道部、という事が一番大きなものになるのでしょうか。

—まあ、部活動でいる時間は授業で生